

発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 伊藤 智彦
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◆ 2月25日(土)~26日(日) 雪山研修会・講習会(大日ヶ岳) <http://aichi-sangaku.main.jp/>



春 頌

中ア・三ノ沢岳とシユカブラ
 昨夜からの風雪はテントを激しく揺すった。朝、
 外に目をやると、眩しい光景が広がっている。

PHOTO 中平等新一

年頭にあたって

皆さんと共に岳連の活性化を!

会長 伊藤 智彦



あたらしき

年の初めに思ふどち
 い群れて居れば

嬉しくもあるか

万葉集

道祖王(ふなのおおきみ)

明けましておめでとうござ
 います。希望に満ちた新年を
 お迎えになられたこととお慶
 び申し上げます。

冒頭の万葉集の一首は「新
 年初めに気の合う仲間と集ま
 ることは嬉しいものではない
 か」と仲間がいることの幸せ
 を述べています。同じ同好の
 友がいてこそ楽しみは深まる
 ものです。お互い山を通じて
 集まった者同士、今年一年楽
 しく活動しましょう。

この三年ほどはコロナ禍に
 あり、社会状況に一喜一憂す
 る日々が続きました。昨年
 は、社会が新型コロナウイルス

影響の中にあっても、少しづ
 つ本来の社会活動に向けて動
 き出しました。今年はこの勢
 いが加速することを期待した
 いと思います。

近年は山の楽しみ方も多様
 化しています。従来の登山に
 加え、トレイルランの方々や
 山岳オリエンテーリング・ス
 ポーツクライミングを含むク
 ライミングを楽しむ方々等々。
 岳連の外で山を楽しんでいる
 人たちが若い人たちが少しで
 も岳連の仲間として受け入れ
 ていくことができれば、岳連
 として嬉しいことだと思います。

昨年、三重岳連が鈴鹿で登
 山客を対象にアンケートを実
 施し、愛知岳連もその活動に
 参加しました。山に入るため
 の基本的な心構えや知識を持
 たずに山に入っておられる方
 が多数見受けられました。
 我々は登山のための基本事項
 の啓発を岳連外に向けてもし
 ていくことが岳連の責務と感
 じます。そのような活動を通
 じて一般の登山者の皆さんと
 も深くかわりを持っていけ
 ればと思います。今後も特に

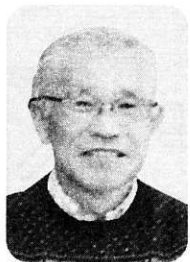
東海四県の岳連の連帯を意識し、互いに協力して行くことが重要になっていきます。またさらに今後の岳連の発展を目的として、青少年を含めた次世代の育成が肝要と考えています。以上のようなことから岳連が何をすべきかをスタッフと一緒に考えていく一年にしたいと考えます。

愛知岳連が持つ社会性など諸般の事情を鑑み、成し遂げたいことの一つとして法人化があります。法人化に向けて

新年の抱負

次世代に向けた岳連

理事長 北村 憲彦



謹賀新年、皆様それぞれに良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症下での様々な活動も、ある程度許容されるようになりました。お互いに理解できる仲間と注意しながら、登山できる機会を少しずつ増やしてください。同時

実に準備を進めていきます。2026年には名古屋でアジア大会も予定されています。それらを考えますと、今後さらなる皆さんのご理解協力をお願いいたします。

最後に愛知岳連は会員の皆さんの日頃の活動に支えられています。皆さんが満足いく登山やクライミングを行っていただくこと、それこそがまさしく岳連の活性化につながります。今年一年、楽しい年にしていきましょう。

に、この間に落ちた体力と感受性も少しずつ取り戻しましょう。今年も無理のないように安全に登山やスポーツクライミングを楽しんでください。

さて、当岳連ではこの時期に通常の活動を一時的に落としました。その代わりに、岳連の将来構想を温める時と捉え、会長以下で法人化や将来構想など多角的かつ深く議論を重ねてきました。その様子については折々の理事会や岳連ニュースでもお伝えしてきました。

今年目指す法人化は、会員に対する運営の適正と明瞭を示すルートであり、広く社会的信頼を高めるためにも適切と言えます。前回岳連ニュースで伊藤会長からの分かりやすい解説記事をご参照ください。この議論を、岳連の将来構想委員会につなげました。ここにはゲストとしてスポーツクライミング、トレラン、学生ワンダーフォーゲルの視点からのご意見も取り入れました。

差し迫って、令和八年にはアジア競技大会にてスポーツクライミングを盛り盛ることになります。多くの課題を乗り越えた先には、アジアの若者や関係者とも新しい交流の機会が生まれそうで、楽しみです。

法人化やアジア競技大会に備える過程で、岳連の信頼をより高めましょう。将来は国民のキャンプやクライミング、トレラン、山スキー、高校の部活、大学の部活など登山と縁のあるアクティビティを包括できる団体に成長していきそうな気がします。今こそ次世代に向けた岳連の新たな転機です。多くの世代が入り混じった仲間が集い、交流できる場を提供できる岳連を目指しましょう。

無雪期救助技術講習会

要救助者の搬送や岩登りシステム

遭難対策委員長 中川 邦仁

久し振りに実施された令和4年度無雪期救助技術講習会が、10月1日(土)2日(日)の2日間、鞍ヶ池公園に於いて好天のもと指導員12人、受講生14人が参加し、有意義な講習会となりました。

今回の講習は、1日づつに分けて2つのコースを設定しました。

【1日目 縦走路コース】

名前のとおり、主に縦走路でおこなうような事故の救助を想定した講習を行いました。午前中は、救助要請までの流れや一時処置の仕方、要救助者の移動搬送方法について

て学びました。午後は、ロープを使った簡単な引き上げ方法と、最後に実践的なシナリオで練習して一日目をおえましました。内容的には、なれないロープワークに苦戦している人も見えましたが、皆さん一生懸命練習していました。

【2日目 岩登りコース】

2日目は、岩場でのクライミングを想定した実践的なコース。墜落して動けないリーダーや、登れなくなったセカンドを引き上げたり、介助しながら降ろしたり。こちらは、岩登りのシステムやロープ、スリングの扱いなど、複合的な作業で難しい。今回は講習場所の制約と時間の都合で、かなり限定した内容になってしまいました。

もう少し日程に余裕が欲しかったか。次回の反省としたいと思っています。

参加された受講生の皆さんお疲れさまでした。また講師の皆様と指導員の方々にもサポートしていただき事故なく無事講習を終えることができました。また、次回も沢山の岳連会員の方に参加していただき、活発な活動にしていけたらと思います。



講習会に参加して

指導員 坂口公美

1日目縦走路コース 主に縦走路などで起こる転倒などを原因とした事故に対して、救助の流れと方法を学びました。福島山岳看護師による救急処置についての実際に即した講義・実演では、救助者が自分一人の場合、携帯電話をスピーカーモードにして早急に処置をはじめると、ちょっとしたヒントがたくさんありました。その後、様々な搬送方法の練習を行いました。またロープを使用しての簡単な引き上げ(1/2、1/3システム)練習を行い、最後は講習生だけで、「山中で急な斜面を滑り落ちた人を助ける」想定でのシミュレーションで締めくくられました。



2日目岩場コース ロープを使った岩登り中の事故に対して、救助の流れと方法を学びました。ピレーの仮固定、自己脱出。要救助者の背負い懸垂、介助懸垂。宙づりになった要救助者の引き込みからのキャッチアップ、介助懸垂。上部コントロールでの吊り下げ救助等の練習を行いました。

技術を学び実践

岩倉山岳会 諸橋涼介

今回初めて救助講習会に参加させていただきました。縦走路コースと岩場コースとの難易度の異なる2日間の講習会でしたが、どちらも充実した学びの多い2日間となりました。その中でも縦走路コースでの最後の課題が、最も印象に残っています。

縦走路コースでは要救助者の救助を、座学と実践で学びました。最後には要救助者を設定して、参加者だけで救助計画を立てて、実際に救助をする課題に取り組みました。僕は要救助者の元へ駆けつける役割になりましたが、知っている技術をどう活かすか。

要救助者の状況、地形、人員、使える道具、優先順位を自分の頭で考えて判断しないといけない。それも焦らされる中で、冷静に判断しないといけない。技術は知っているだけでは不十分で、状況に合わせて適切に使えないと役に立たないことを思い知らされました。自宅に帰ってから「こうすればよかった」「こうした方がよかった」と何回も何回も思い返しましたが、この過程が技術の獲得であり、

継続して参加

やまびこ山想会 氏家敦子

初日は、弊山岳会での講習会でやった内容もあり、比較的馴染みやすい内容でした。今年のWEB講習会は都合で参加できませんでしたが、昨年のWEB講習会には参加していたので、実技ができたよかったのにな、と思っていた搬送が、実際に経験できたのは有意義でした。

今後ですが、WEB講習会で流したビデオや、基本のロープワークが、岳連のHPで振り返ると良いのになーと思いました。初日は自分の山行形態、日常生活など特に覚えておくと良い内容が盛りだくさんで、良かったです。

す。

2日目は普段あまりやらない岩登りの基本知識も必要で、ついていくのも大変でしたが、実際のロープ切断で、要救助の加重の衝撃を体感できたのは、本当に良い経験になりました。救助の過程で、もっと細かい内容を掘り下げないといけないところを時間の都合上、割愛された面もあるかと思いますが、自分自身としては、講習会に継続的に参加して、少しでも自分のできることが増えるといいな、と思います。



学んだ技術を生かす!

豊橋山岳会 二橋まさこ

岳連が主催する講習会は確保講習会なども含め、初めて

の参加でした。クライミングをするなら方が一に備え、救助の技術は習得したほうが良いと分かっているものは、クライミングですら未熟な私には、救助のシステムはとて高いハードルのように思っています、今回も不安の中での参加でした。

講習会当日は、全体説明後、まずフェンスを利用して救助システムの流れを学び、その後公園の石垣へ移動しリーダー救助とチームでの救助の実技を行いました。救助システムは、説明を受けている間は理解できているように感じていましたが、いざ実技になると、教わった通りにシステムの構築をしているつもりでも、1本目は懸垂下降からの要救助者のピックアップすら

スムーズに出来ずに終了。2本目は振分システムのポイントをさらに指導頂き、実技中もアドバイスを頂いてなんとか要救助者の下降までたどり着くといった残念な結果で、改めて理解と実践の違いを痛感し、講習会を終えました。

救助講習会の内容は、予想通り私にとつてとてもハードルの高いものでしたが、教わった内容は、救助システムの構築はもちろんですが、振分システムの注意点、適切なスリングの選び方、ナイフの持ち方等細かな注意点もとても勉強になるものばかりでした。今回の講習会で学んだことを、実践できるレベルまで高められるよう、山岳会での今後の活動に生かしていきたいです。

『遭難を考える』講演会

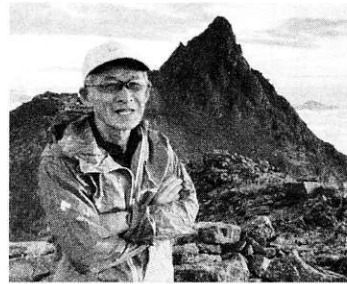
― 究極のトレラン／限界への挑戦 ―

第26回「遭難を考える」講演会が、11月25日(金)webで開催されました。

今年には講師に愛知岳連副理事長・TJAR顧問の岩瀬幹生氏を迎え「トランスジャパンアルプスレース TJAR―究極のトレラン／限界への

挑戦―というテーマで講演を行いました。

岩瀬氏は20代から現在に至るまで、冬山や海外登山、クライミングなどで67歳の現在も常にエネルギーに活動が続けられます。40歳頃より取り組んできたスピード



講師の岩瀬幹生氏

登山とトレイルランニングは日本のアルプスを舞台とした究極のレースへと発展し、現在では沢山のランナーの支持を得ています。

今回の講演では、この大会の立ち上げから現在に至る経緯や活動への思い、事故を起こさないためのトレーニングやリスクと向き合う方法について語っていただきました。

〔講演の要旨〕

今回の演題は、いまから20年前に自分が始めた「トランスジャパンアルプスレース TJAR」日本海から日本アルプス(北ア・中ア・南ア)を越えて太平洋まで8日以内で駆けぬける―をコンセプトとして2年毎に開催している、ちよつとハードなレースのお話です。

このレースを始めたきっかけや思い、コース設定の苦労

印象に残った私の登山

36

やまびこ山想会 加藤奈津子

思い返しているといろんな場面がきれぎれに浮かぶ。見た光景、嗅いだ匂い、あたる風、聞こえた音、交わした言葉、暑さ寒さ、どれも自分の身体を通して感じられたものであるせいかな、懐かしい感じがする。歩いている時ばかりでなく、合宿前夜、友人宅で食料の重さをパーティ均等に分けたことや、山までの車や電車の中でのこと、下山後の握手、登山靴を皆が脱いでいる時の様子など、山行の始終に印象がある。

大雨でテントが水に浸かり夜中に小屋の主が心配して来てくださった針ノ木、青年小屋のテント場の朝、雨で重くなったテントを背負って水路となった登山道を下山した赤岳、合羽にあたる雨がいつしかしずかに雪となって空を見上げた登りの御在所、雨の山も一つひとつが特別だ。

23年前、やまびこに入会してはじめての冬に雪の霊仙山に登った。前夜、計画書通りに装備を詰め終え両腕で持ち上げた瞬間の重さ、その時の驚きを今も覚えている。醒ヶ井から歩きながら、あまりの

重さに不安になったことを話すと、大先輩は「それでも背負って歩いてしまっんだ」と控えめに笑ってしまう。登山口では寒いなか皆がするように上着を脱いだ。歩き出すと雪の樹林帯にいて薄着なのにちつとも寒くない、それが不思議な感覚だった。テントの設営も雪の共用トイレにもなるほどと思う知恵があった。何に使うのだろうと思っていたスコップはテント場を均し、雪のプロックを切り出し、トイレの門番にもなった。テントの中では、雪から湯を沸かすことも、大勢で車座になって飲み食いし、話したり歌ったり、酔ってそこで寝てしまう人がいることも新しい体験だった。テントシューズで外に出ると、夜空が雪のほうつとした白と混ざって灰かに蒼いようで、冷たい空気はとても透明な感じがし、そのまま静かに居たくなる気持ちがあった。

先日、初雪の朝に登山靴で散歩に出た。ぎゅ、ぎゅ、と雪を感じながら歩くうちに楽しさ、懐かしさ、寂しさが混じり合い、無性に山に行きたくなった。日常のふとした印象も何かと符合して山を思わせる。

話、選手選考の難しさなどに加えて、TJAR変化と進化：今の選手は①応援力で走る②みんなに守られている③報告書が凄いのについてトークさせていただきました。

その後、『自分の命は、自分で守る！』リスクマネジメントのお話。

トレラン・登山などは自己責任 (OWN RISK) である。アクシデントに対して、可能な限り自力で対応するための準備と心構えが必要である。そのためには計画書提出や山岳保険加入はもちろんのこと。

①適切な登山計画を立て、コースを把握するために概念図を作っておくこと②山中で行動不能となっても、少なくとも一晩過ごせるギア・ウェア・食料(水)を常にもって行動することの大切さについてお話しさせていただきました。

視聴された方の中にはこの大会に出場した選手の方もいて、実際の貴重な体験を聞くことも出来ました。1時間では語り尽くせない内容でしたが、限界に挑戦する中でリスクマネジメントと継続する熱い思いは、参加された方にも十分伝わったのではないかと思います。

(中川 邦仁)

令和4年度 冬山入山状況

R4.12.20現在

▲北アルプス方面

(No.)	(所属団体名)	(登山期間)	(登山ルート)	(リーダー)	(人数)
1	名古屋山岳会	12/24～12/31	湯俣～硫黄尾根～檜ヶ岳～檜平	藤英 佐夫	2名
2	岡崎山岳会	12/28～12/30	上高地⇔徳沢⇔蝶ヶ岳	近窪 田地	2名
3	トヨタ自動車山岳部	12/29～12/31	須佐渡ダム⇔三股⇔蝶ヶ岳往復	窪田 康浩	3名
4	豊川山岳会	12/29～1/1	①中千丈の水瀑群②霞沢岳西尾根(往復)	白井 良岳	3名
5	豊橋山岳会	1/2～1/3	湯沢平～十石山山頂～湯沢平	鈴木 克巳	8名
6	G S A	1/3～1/7	横尾尾根～南岳～檜ヶ岳～多嶺岳西尾根	内田 雅直	2名
7	名古屋山岳会	12/30～1/1	錫杖岳三ルンゼ・P4チムニー	鈴木 直哲	3名
8	岩倉山岳会	1/4～1/7	檜平～千丈乗越～檜ヶ岳	西村 洋	1名

▲南アルプス方面

1	チーム猫屋敷	12/27～1/1	池山尾根～北岳～農鳥岳	石原 寛之	2名
2	名古屋山岳会	12/29～1/1	鳥倉口～三伏峠～塩見岳～三伏峠～鳥倉口	原村 賢子	2名
3	〃	12/31～1/3	池山尾根～北岳バットレス～池山尾根	藤 祥子	2名
4	岡崎山岳会	1/7～1/8	畑 薙 ⇔ 茶白岳 ⇔ 上河内岳	中島 義政	4名
5	豊橋山岳会	12/28～12/31	営林署跡～岳沢～大仙丈ヶ岳～地藏尾根	木村 崇	5名
6	〃	1/2～1/6	聖岳登山口～東尾根～聖平冬季小屋～南岳	後藤 伸次	2名
7	やまびこ山想会	1/7～1/9	～茶白岳～横窪沢小屋～畑薙第1ダム 夜叉神峠～薬師岳～観音岳～地藏岳	宮 森 千治	6名

▲八ヶ岳方面

1	豊田山岳会	1/5～1/9	美濃戸～赤岳鉾泉～赤岳、硫黄岳	磯部 誠	9名
2	豊川山岳会	1/7～1/8	赤岳鉾泉～硫黄岳～赤岳鉾泉	浅田 俊夫	5名
3	名古屋山岳会	12/24～12/25	八ヶ岳西面	鈴木 直紀	2名
4	豊橋山岳会	1/7～1/9	蓼科山～北横岳・縞枯山～麦草天狗岳 ～夏沢峠～硫黄岳～赤岳～行者小屋	中村 広志	2名
5	〃	1/6～1/7	北横岳～双子池テント場～雨池～北横岳ロープウェイ	渡邊 早織	3名
6	〃	12/25	洪の湯P～黒百合ヒュッテ～東天狗岳～西天狗岳 ～東天狗岳～黒百合ヒュッテ～洪の湯P	平野 史子	3名
7	名古屋山岳会	1/6～1/8	八ヶ岳東面 地獄谷出合定着	坂本 欽吾	2名

▲中央アルプス方面

1	デンソー山岳部	12/29～12/31	福島Bコース⇔麦草岳⇔木曾駒ヶ岳	鈴木 芳則	4名
2	豊川山岳会	12/28～12/29	檜尾尾根～檜尾岳～千畳敷	河合 芳尚	7名

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい(帰化)、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号
(地下鉄・久屋大通駅から2分) 丸の内東桜ビル1004号室

TEL: 090-4857-9130

URL: <http://www.nygs-office.com/>

うなぎ錦三丁目 い ば しょう



〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号

TEL <052> 951-1166 番

営業時間

午前 11:00～午後 2:30

午後 4:00～午後 8:00

定休日

日曜日・第二・第三月曜日

高校登山部・新人大会

踏査や筆記試験・縦走競技など

高体連 上原真一

去る11月12日・13日の両日に三重県鈴鹿山系釈迦ヶ岳において、愛知県新人体育大会登山競技が朝明溪谷の朝明茶屋をベースに行われた。新型コロナウイルスの流行もあり、昨年度・一昨年度は開催形態を変更したので、3年ぶりの本格的な開催であった。やっとなりながら近づくという喜ばしいことである。しかし大会では久しぶりの山城である。1、2年生のチームが参加する大会であり、部活動全体に制限がかかっていた期間も長かったので、経験の少ない選手たちに十分注意しよう、と役員や教員たちは気を引き締めて運営に当たった。

1日目は踏査競技、設営審査と天気図や医療知識のほか筆記試験などを行った。今回は、選手はテントではなくバンガロー泊であったため、テント泊の時に炊事審査をしなかったが、ほぼ通常の大会内容で実施できた。

天気もまずまず、今年度は紅葉もなかなか進まないが、朝明溪谷の美しい景色にはい

つも感嘆させられる。台風が来なかったせいとか木の葉もまだ落ちておらず、秋を感じさせる景色であった。

『登山勉強会』 中高年の冬山での注意点

やまびこ山学会
近藤 千加子

第4回登山勉強会が12月13日(火)19:30~20:30にWebexを使ったweb会議形式で開催されました。講師は福島弓子氏(日本登山医学会・国際山岳看護師、JSPPO・山岳コーチ2)で、「40歳以上の登山と冬山登山で気を付けること」をテーマにお話下さいました。参加者は15名限定で、1時間という時間制限の中、参加者全員が指名されて2~3回は発言するという

調不良に見舞われるチームもあり、医療支援をしてもらっている山岳看護師や、消防の救急隊員らのサポートもあり、緊迫した場面もあったが、大事にならず無事全員下山することができた。最後に下山した選手は、残念ながら雨に降られてしまったが、気温も高くつらい思いをするとはなかった。

結果は男子1位西尾、2位岡崎、3位豊川、4位旭丘、5位桜台、女子1位岡崎、2位旭丘、3位桜台であった。全チームの健闘を称えます。



編集後記

■明けまして おめでとーございませう。おめでとー

昨年はいくつかの方のご寄稿有難うございました。コロナに負けず、猛暑に負けず、自粛生活の中で登山でした。

■今年、日本の『月面着陸元年』になるらしい。民間で初の試みで、月面探査計画名は「HAKUTO-R」。もしかして月の山で白兔に会えるかな……?!

本年もよろしく
お願いします (N)

大変に「双方向的な勉強会」でした。

現在の遭難事故状況の統計から、遭難事故3,075人のうち40歳以上が78%を占めていること、死亡・行方不明283人のうち263人が40歳以上で、全体のなんと93%を占めている等、統計的な話から始まりました。死亡・行方不明者の割合は、年齢を重ねるにつれさまざまに能力の低下が起きてサバイバルできないことを実感させられる驚くべき数字でした。

さて、40歳以上の登山で気を付けること、勉強会の結論としては「脳の老化を防ぐ」

ということでした。そのため①血管を大事にする、②歯磨きをすることが大切とのことでした。歯磨きは意外かもしれませんが、歯周病などで血が出てくるとそこから細菌が他臓器に運ばれて重篤な事態になることもあるそうです。また「飲酒・喫煙は思い切ってやめる」という酒好き登山家には耳の痛いお話もありました。登山という狭い範囲でなく看護師という大きな視点からのお話を聴くことができました。また、参加者の皆様それぞれ気をつけていることを聴けたのも良かったです。



冬山装備のメンテナンス工房

HAREYAMA

なにより「安全」のためです。命を守ってくれる相棒を大切に。

冬山装備のメンテナンス アイゼン・ピッケル研ぎます



株式会社ウォームリンク
〒470-0135 愛知県日進市岩崎台 1-130
Tel. 0561-72-2805



hareyama.net

安心して選べる三河地区
のプロショップ



登山用品豊富!

JR刈谷駅前

穂高

〒448-0825
刈谷市神明町6-408
TEL 0566 (23) 8611
定休日/火曜日
営業時間/10:00~20:00